

■紙面イメージ

『(1) 自分から片づけるようになる 整理整頓』



chapter 1 「その気」になる親の関わり方

片づけて、しなくちゃダメなの？

急に自分で片づけるようになって言われても、どうしたら良いかわからない。そもそも片づけていないといけないの？ そんな子どもの気持ちに目を向けてみましょう。

子どもの気持ち	親の気持ち
<p>お片づけするわーよ。</p> <p>親が片づけてくれるはず 今まではいっしょに片づけてくれたのに、何だか急に助けてくれなくなった...</p>	<p>自分で片づけて！ 小さい頃は手伝ってあげたけど、もう成長したんだから、自分で片づけられるはずよ。</p>
<p>どれも大事...</p> <p>片づけて捨てること？ 片づけて高いながら、「いらないでしょ」って何で捨てるよとるんだもん...</p>	<p>使っていないから処分してもいいよね いらないものがあるから、使っていないものだから、捨てちゃってもいいでしょ。</p>

遊び中

また使う

片づけ

親と子のギャップ

親は子どもがあとで困るはずだからと片づけを促しますが、「今」困っていない子どもには真意が伝わりません。自分は平気なのに、親の都合で片づけさせられていると感じてしまいます。

昇数のノート
忘れちゃった。

忘れもの

なくしもの

時間のロス

Point!

整理整頓不足が原因でさまざまな問題が起これば、子どもはそのことに気づいていないよね。

子どもから見ると、片づけて、どんなもの？

子どもの気持ちになってみて。

19

『(2) 自分で解決できるようになる 友だち関係』



もっと子どもと話がしたい

親の「べき」を脇に置いて聴こう

子どもとの会話に親の「べき」をもち出すと、会話がそこで終わってしまいます。子どもの気持ちに寄り添う返事をする事で、子どもはどんどん話せます。



子どもがすっかり学校や友だちの
してくれなくなった…。
それはそういう年頃だともいえます
親の話の聴き方が嫌で避けてしま
可能性もあります。
子どもが話しやすくなるような
聴き方かどうか考えてみましょう。

実はちゃんと聴けていない!?

親と話すのが億劫になるのは、早とちりでなにかと突っ込まれたり、
なぜだか説教が始まってしまったりするから。きちんと子どもの話を
“聴く” ことに徹すれば、子どもはもっと話せるのです。



子どもが安心できる
話の聴き方があります

